

おひさま教室（子育て支援親子遊び）

参加者（乳幼児とその保護者）

10月15日（水）、1月28日（水）

講師：臨床心理士・公認心理師 伊藤勢津子 氏

親子でふれあい遊びを楽しんだ後、講師より子育てについての話や子どもの発達に応じたアドバイスを受け、参加者同士で共感し合う姿もあり、育児不安等の軽減へとつながっていました。



食育推進講座

参加者（乳児の保護者・妊婦・乳幼児食育アドバイザー）

離乳食講座

離乳食前期	離乳食後期
5月29日（木）	6月 5日（木）
7月17日（木）	7月24日（木）
10月 2日（木）	10月 9日（木）
12月 4日（木）	12月11日（木）
2月12日（木）	2月19日（木）

講師：長崎国際大学 教授 古賀貴子 氏

離乳食に関する講話と調理の実演、実習、試食を行いました。



乳幼児食育アドバイザーフォローアップ講座 5月 8日（木）

講師：長崎国際大学 教授 古賀貴子 氏

離乳食講座の参加者からの事前質問に対する解説や、口腔の成長と月齢に応じた支援のポイント等、離乳における支援者としての必要な知識を学ぶことができました。

情報発信 ●保幼小連携接続カリキュラム●保幼小連携接続カリキュラム（佐世保様式）改訂版に関すること●保幼小連携接続カリキュラムガイドライン●保幼小連携の取組み（施設版・家庭版）●「保幼小連携の取組み」ポスター●要録様式（佐世保版）改訂版に関すること●きらきらだより●きらっと通信●乳幼児施設ガイド●幼児教育センターパンフレット●きらきら広場パンフレット●インスタグラム●離乳食の作り方動画の配信●すくすく SASEBO●させほっ子ナビ（母子手帳アプリ 母子モ）●育児サークル&子育て支援グループ一覧●ジモイク●図書の出し入れ●研修のまとめ●佐世保市保幼小連携アンケート調査に関する報告書●赤ちゃんふれあい（いのちを育む）事業報告書●赤ちゃんふれあい（いのちを育む）事業中学生追跡調査報告書●幼児教育センターだより

きらきら広場

子育て支援の場『きらきら広場』は、スタッフやボランティアが温かく見守る中で、親子にとっての交流の場、癒しの場となっています。月に1回広場で実施している親子活動では、様々なイベントや座談会等を行っており、参加者同士の交流を深めることができました。

親子活動 内容

4月	子育てトーク「ほっとタイム」
5月	親子でピラティス
6月	女性の健康づくり講座
7月	子育てHAPPYアドバイス講座
8月	夏まつり
9月	緊急時の対応
10月	わくわくタイム（親子で運動あそび）
11月	幼児期の食や栄養について学ぼう
12月	ミニコンサート（親子で楽しむジャズピアノコンサート）
1月	子育てトーク「ほっとタイム」
2月	親子で楽しもう
3月	子育てトーク「ほっとタイム」



教育相談・子育て相談

保育者・子育て中の保護者を対象に、幼児教育全般や育児に関する相談を受けています。（長崎県立佐世保特別支援学校地域支援担当教諭や保健師等と連携しています）電話やメールでもお問い合わせいただけます。

子育てサークルネットワークさせほ

佐世保市内で活動しているおよそ25の育児サークル・子育て支援グループの事務局として、支援を行っています。

佐世保市幼児教育センターだより

第23号

令和8年3月発行

「子どもを安心して産み、楽しく育て、子どもが健やかに成長できるまち」

佐世保市子ども未来部長 八木正直



平素より、本市の子ども未来政策に対するご理解とご協力を賜りまして、心より感謝申し上げます。

本市では、令和7年3月、子ども・子育て施策を総合的に推進するためのマスタープラン、「佐世保市子どもまんなか計画」を策定しました。

令和7年度を始期とする5か年間の計画として、「子どもを安心して産み、楽しく育て、健やかに成長できるまち」を望まれる姿とし、未来を担う子どもたちが心身ともに健やかに育ち、自らの可能性を伸ばし希望ある未来を築いていけるよう、その基盤を社会全体で整えていくことを目指しています。

この計画に基づき、妊娠を希望する時期から子育て期に至るまでの切れ目ない支援体制の構築、妊娠・出産や子育てに関連する医療・福祉サービスの充実、産後の心理的・経済的負担の軽減、さらには地域における子育て支援にも重点を置いて取り組んでいます。

その中で、幼児教育センターは、幼児教育・保育全般に関する調査・研究を行う機関として関係団体と連携し、乳幼児教育・保育施設と小学校及び義務教育学校へ研究結果の情報発信を行うとともに、市民や関係者向けにホームページ等において情報を公開しています。

また、幼児教育・保育全般に関する研修拠点として、研修内容や実施方法等の検討を行うとともに、幼稚園教諭・保育士・保育教諭等向けの研修会等を開催しています。

さらには、保幼小連携推進会議や関係団体との連携を深めながら、幼児期から児童期への滑らかな接続に向けて全市的に保幼小連携を推進し、共働き家庭の増加といった社会情勢の変化等を踏まえながら、幼児教育・保育のさらなる充実を目指しています。

これらの実現のためには、子育ての主体である保護者自身が子どもを育てる力を高める「自助」、地域や人とのつながりの中で支え合う「互助」、地域全体で子どもと子育て家庭を見守り支援する「共助」、そして行政が制度や施策で子育て支援を行う「公助」、それぞれが連携し補い合うことが重要であり、これらが切れ目なく、そして重なり合うことで、子どもたちの成長を社会全体で支える環境が育まれていくものと思っています。

結びにあたり、「子どもを安心して産み、楽しく育て、健やかに成長できるまち」を実現するには、市民の皆様一人ひとりのご理解とご協力が不可欠です。

私たちは、皆さまの声に真摯に耳を傾けながら、常に最善の支援を提供できるよう努めてまいります。引き続き、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



佐世保市子どもまんなか計画
掲載サイト



子供の輝きを引き出す
佐世保市幼児教育センター
 〒857-0822 佐世保市山祇町 387 番地
 TEL : 0956-31-0550
 E-mail : youjik@city.sasebo.lg.jp

▲ホームページはこちらから

 ▲インスタグラムはこちらから

職員研修

参加者（乳幼児教育・保育施設職員等）

幼児教育研修会【初任者】 7月31日（木）

「ハートフルな保育を！保育者としての第一歩」
講師：すこやか子どもセンター 村山彩子 主幹（保健師）
今年度初めて、経験年数3年未満の職員を対象として資質向上と保育者の定着促進を目的とした研修を開催しました。悩みの共有や情報交換だけでなく、保健師からの各種相談機関等の関係機関の紹介もあり、安心感につながりました。

幼児教育研修会Ⅰ【基礎】 9月9日（火）

「保育のやりがいと自己成長を再発見！」
みんなでワールド・カフェ！
講師：長崎大学 准教授 脇信明 氏

経験年数5年未満の職員を対象とした保育の基礎を学ぶ研修です。若手保育者同士の交流研修を通して、日頃の疑問や悩みをお互いに吐き出し、いろいろな思いを抱えているのは自分だけではないと実感し、心も軽くなったようでした。



幼児教育研修会Ⅱ【中堅】 9月10日（水）

「子どもの主体性を育む保育実践づくり」
講師：長崎大学 准教授 脇信明 氏

経験年数5年以上の職員を対象としたミドルリーダーとしての役割について学ぶ研修です。主に事例を通して、『主体性』について考えることができました。具体的な場面を思い浮かべながらイメージしたり、考え方のヒントの提示があったりして、すぐに保育に活かせる内容でした。

幼児教育研修会Ⅲ【主任・主幹教諭】 9月9日（火）

「事例から学ぶ保護者対応の視点と主任・主幹教諭の役割」
講師：長崎大学 准教授 脇信明 氏

主任・主幹教諭を対象とした研修です。保護者対応の失敗談からの学びや主任・主幹教諭としての役割について講義がありました。意識のズレを減らし、現状を把握し、理解を深めることの大切さについて、参加者も共感しながら話に聞き入っていました。



幼児教育研修会Ⅳ【園長・副園長】 9月10日（水）

「これからの時代に求められる園長のリーダーシップ力」
講師：長崎大学 准教授 脇信明 氏

園長・副園長を対象とした研修です。園運営と園づくりについての様々な課題について、丁寧かつ適切な対応が求められており、リーダーとしての役割や園の改善方法について熱心な協議が行われました。参考になる書籍の紹介も多く、とても好評でした。

★公開保育

佐世保市立白南風幼稚園 9月24日（水）

「いろんな遊び方があっていいんじゃない？
～遊びを通してインクルーシブな保育を考える～」
助言：佐賀県保育幼児教育アドバイザー 庄籠道子 氏
公開保育の視点に沿って参観し、それをもとにグループ協議を行いました。指導助言では、白南風幼稚園の公開保育の動画を視聴しながら場面に応じた指導方法や環境構成のあり方について具体的に示され、学びを深めることができました。



特別支援教育研修

参加者（乳幼児教育・保育施設職員等）

★特別支援教育研修会Ⅰ-① 5月21日（水）オンライン開催

「子どもの特性理解と個に応じたかかわり」
講師：兵庫大学 准教授 藤野正和 氏

★特別支援教育研修会Ⅰ-② 6月4日（水）オンライン開催

「保護者目線で考える保護者支援」
講師：兵庫大学 准教授 藤野正和 氏

具体的な支援事例や参考事例をもとに特別支援教育の基礎を学べる2回連続受講の研修です。子ども理解の基本姿勢や、子どもの発達・特性に合わせた保育者の関わり方等を学ぶことができました。また、事前質問にも丁寧に助言いただき、実践的な学びとなりました。



★特別支援教育研修会Ⅱ 10月9日（木）

「行動・情動・コミュニケーションが心配な子どもへの支援」
講師：長崎大学大学院 教授 岩永竜一郎 氏



発達障害の特徴やいろいろな課題への対応方法、環境面での配慮等、実際の指導場面の動画も交えて具体的に学ぶことができました。特別な配慮を必要としている子どもに対してだけでなく、自身の保育を見直すよい機会となりました。

★職員研修講演会 11月7日（金）

「感情を育む愛着的関わりとは」
講師：西九州大学 教授 西村喜文 氏



保育現場の現状や園内における子ども達の状態、愛着の大切さ、保育施設の役割等についての講話がありました。保育の原点は子どもが安心して過ごすことができる園であること。また、保育の専門職としての役割や保育の内容について改めて考え、見直すよい機会となりました。

★食物アレルギー対応に関する研修会 12月19日（金）
対面とオンラインによるハイブリット開催

「食物アレルギーの基本と、食事対応の考え方」
講師：佐世保共済病院 小児科部長兼小児アレルギーセンター長 合田裕治 氏

食物アレルギーについての基本的な考え方と、乳幼児教育・保育施設等における食事対応やアレルギー症状が出た時の対応等について具体的に学ぶことができました。食物アレルギーについては、子ども達の命に直結するため、保育施設においては、正しい知識のもと、対応が求められており、正確な情報や適切な対応の普及につながりました。



保幼小連携研修

参加者（小学校教員、乳幼児教育・保育施設職員等）

第1回保幼小連携担当者会 4月～5月

市内47各校に担当者が集まり、情報交換や校区での保幼小連携のテーマ（めざす子ども像等）、年間交流計画や職員間交流の必要性について協議がなされました。

第2回保幼小連携担当者会 1月

各ブロックで開催し、今年度の振り返りや育みたい子どもの姿を保幼小連携担当者で共有しました。また、接続期をおおむね2年間ととらえて子ども達の育ちを見ていき、接続カリキュラムを作成することについても考え合いました。

★保幼小連携講演会 6月18日（水）

「子どもの探究から考える保幼小連携」
講師：広島大学大学院 教授 中坪史典 氏

幼児教育の重要性やこども家庭庁の発足の経緯、『探究』が幼児教育と小学校教育の架け橋であること等についての講話がありました。幼児教育から小学校教育へのつながりについて考えるきっかけになりました。



★生活総合部会研修 8月20日（水）

「主体的に学びに向かう力を育む架け橋期
～探究でつなげる保幼小のカリキュラムを考える～」
講師：兵庫教育大学 教授 鈴木正敏 氏

小学校等の「生活総合部会」の協力のもと、佐世保市教育センターとの合同研修として、今年度初めて開催しました。エピソードや資料をもとに子どもの育ちや学びを紹介し、保幼小のつながりが感じられる内容でした。

施設長会 8月21日（木）、9月4日（木）

講師：西南学院大学大学院 教授 門田理世 氏

多数の施設長の先生に出席いただけるように同じ内容で2日間開催しました。各施設長がグループに分かれ、保育・授業の動画を視聴後に協議を行ったり、情報を共有したりしました。

要録に関する研修会 11月20日（木）

「子どもの育ちをつなぐ要録の作成と書き方のポイント」
講師：保育幼稚園課 立石徳子 行政幼稚園教諭

要録に関する共通理解事項についての講義とグループワークを通して、要録の書き方や記録の取り方等について学びました。（対象：乳幼児教育・保育施設職員等）

接続カリキュラム（佐世保版様式）改訂版説明会 12月16日（火）

オンライン開催後、3月末までアーカイブ配信
改訂版のポイントと進め方等について情報発信を行いました。

保幼小連携担当者事務局説明会 1月14日（水）

オンライン開催後、1月末までアーカイブ配信
保幼小の先生方の声から連携の現状と、白南風幼稚園から白南風小学校校区の取組について紹介し、第2回担当者会の協議内容を説明しました。

父親向け育児講座

参加者（市民、乳幼児教育・保育施設職員等）

親子ふれあい遊び 2月8日（日）

「パオパオバルーンで遊ぼう！」
講師：運動遊び・体づくり（体操）運動指導者 澤井雅志 氏
親子で体を動かしながらふれあうことで、笑顔と元気があふれる楽しい時間を過ごしました。



赤ちゃんふれあい（いのちを育む）事業

参加者（市民、小学生、大学生、子育て支援センター職員）

潮見小学校6年生 6月9日（月）
木風小学校6年生 6月16日（月）
港小学校5年生 6月20日（金）
白南風小学校5年生 11月7日（金）
天神小学校5年生 11月21日（金）



乳児とその保護者、小学校5～6年生との交流会を行いました。保護者は子育てを振り返ったり、10年後のわが子の姿をイメージしたりできました。小学生は赤ちゃんを抱っこしたり、保護者に質問したりして赤ちゃんの様子や子育ての喜び、そしていのちの大切さについて学ぶことができました。

長崎県立大学 12月17日（水）

日野子育て支援センターと合同で、長崎県立大学の学生を対象に、赤ちゃんふれあい事業を開催しました。それぞれの立場でのいのちや子育てについて考え合う有意義な時間となりました。

実技研修

参加者（乳幼児教育・保育施設職員等）

★実技研修会 6月26日（木）

「ケロポンズの明日の保育に役立つセミナー（研修会）」
講師：ケロポンズ



明るく元気いっぱいの講師の人柄が参加者にも伝わり、笑顔があふれる研修会でした。あそび歌やダンスの他に絵本やパネルシアターの実演もあり、保育に取り入れられるヒントがたくさんありました。

調理担当者実技研修会 8月5日（火）、6日（水）、7日（木）

「食育活動について」
講師：健康づくり課 岩谷恵美 課長補佐（管理栄養士）
辻南海子 主査（管理栄養士）
湯田範子 主査（管理栄養士）

管理栄養士による講義と各施設で取り組んでいる食育活動についてのグループワークを通して、安心安全な食を提供するための正しい知識や質の向上について学びました。

子育て講座

参加者（市民、乳幼児教育・保育施設職員等）

★子育て講演会 7月27日（日）

「子育て万歳！笑顔になれるトーク&コンサート
～5歳の娘の子育て真っ最中のいっちゃんが自身の体験を交えて楽しく語る60分～」
講師：市原隆靖 氏

今年度は講演会の前に親子でのふれあい遊びとハイハイレースを実施しました。講演会もトークありオーボエの演奏あり、歌の披露ありの盛りだくさんの内容で、『笑顔になれる！』のメッセージが伝わり、笑顔があふれる講演会となりました。

